

津波（とても高い波）  
ハザードマップ

発行(作ったところ):西尾市 危機管理局 危機管理課

TEL:0563-65-2137

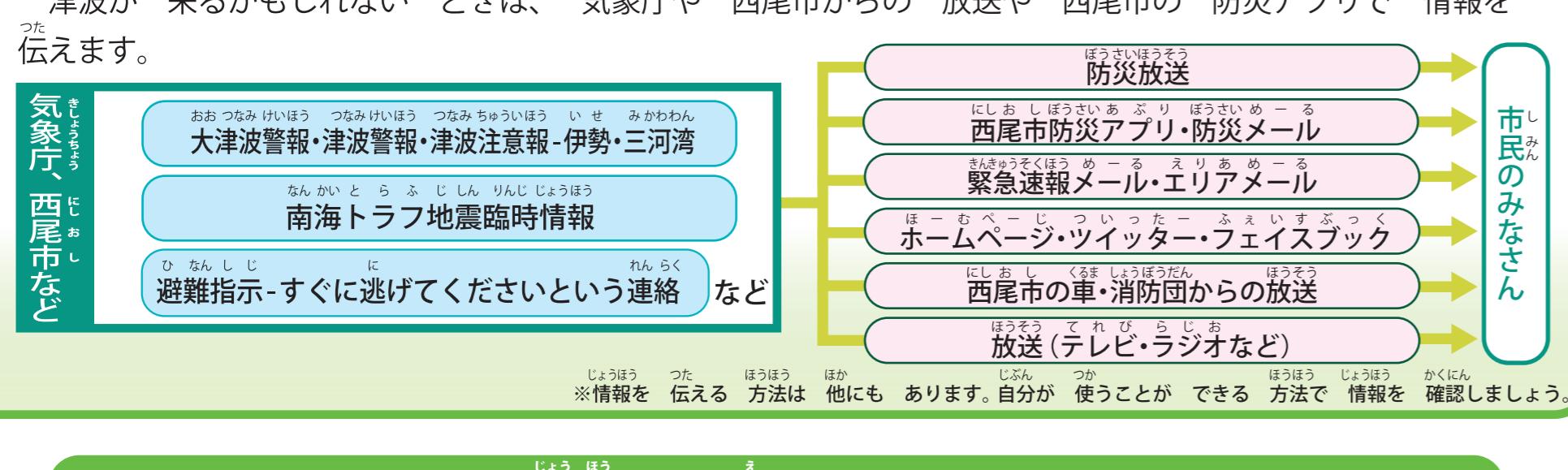
発行年月(作った年と月):令和3年3月

## ハザードマップの使い方

- 1** 自分の家や学校や働いているところをハザードマップで確認(よく見ること)して、津波から正しく逃げることができるように準備しておきましょう。
- 2** 津波が来るところを確認します
- 3** 逃げる道を確認します  
※実際に歩いて確認しましょう!
- 4** ができるように逃げることに持っていくものを準備しておきましょう!



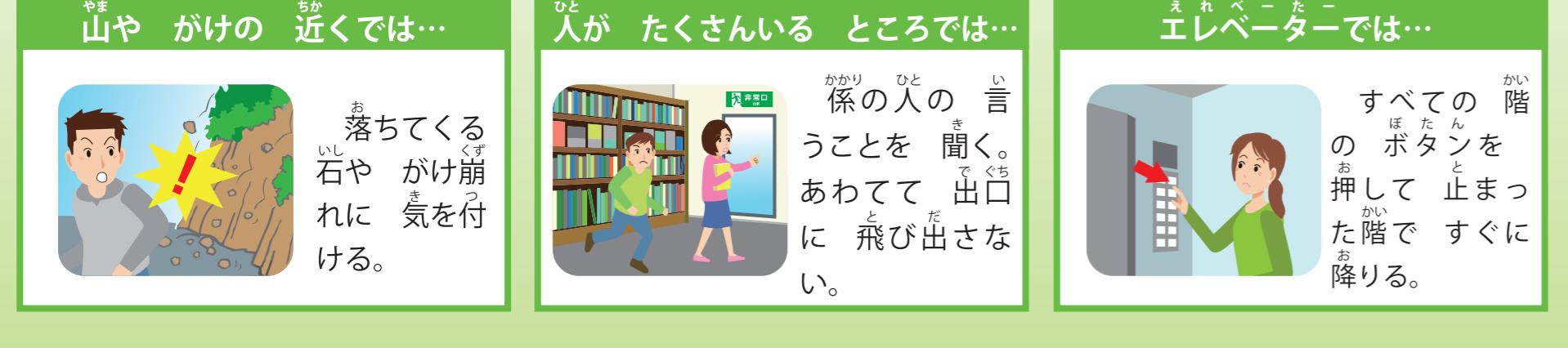
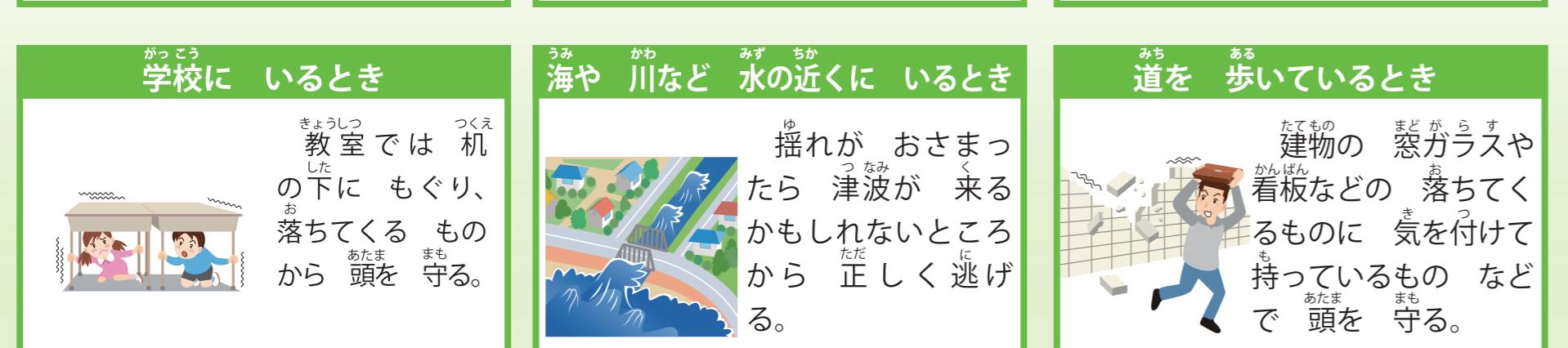
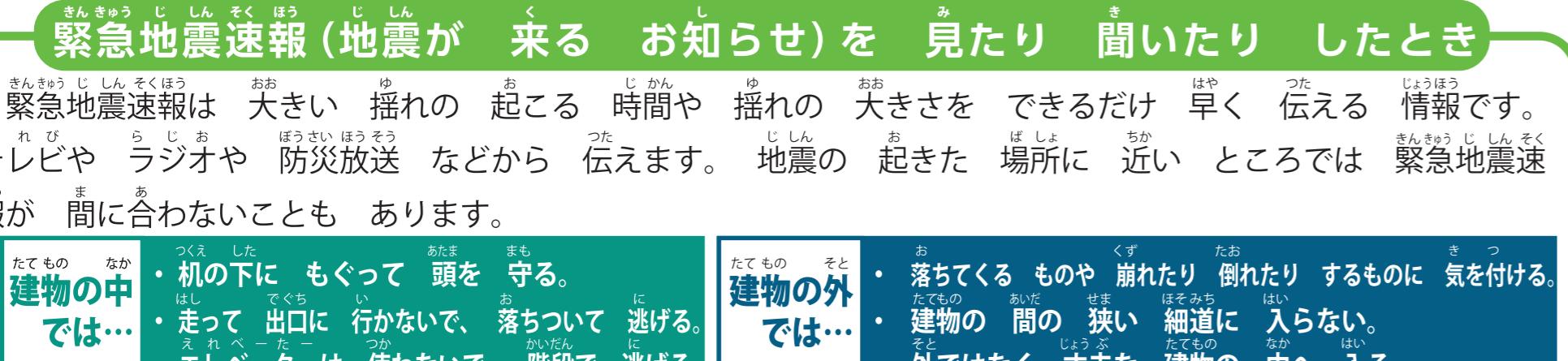
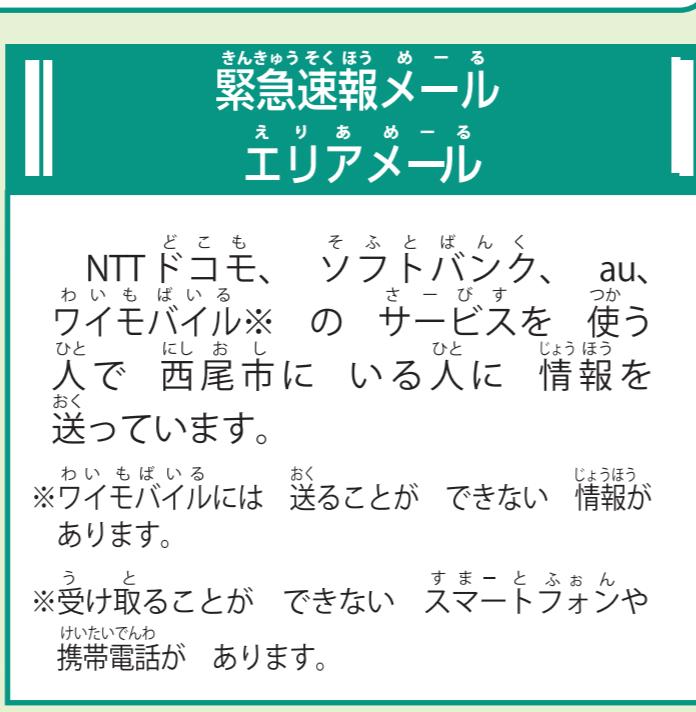
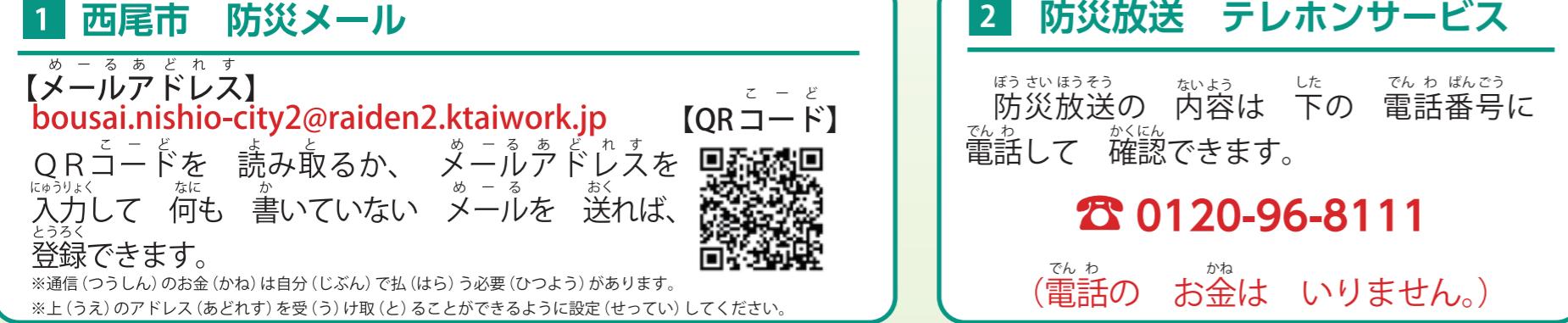
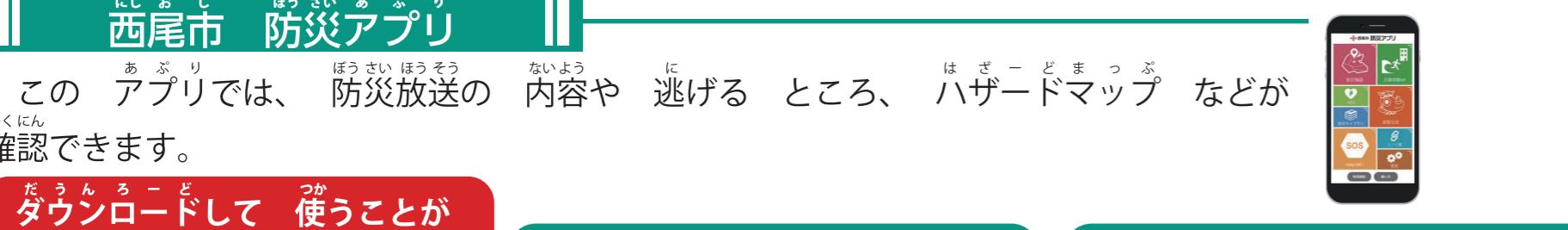
## 津波の情報の伝わり方



## 情報を得るところ

何かあったときはテレビ、ラジオやインターネットから情報を確認します。また、この地図に書いてある逃げる場所は変わっていることがあります。

最新の情報は、西尾市の防災アプリやホームページで確認してください。



## 普段からの準備

普段から何かあったときに持っていくものの準備をしておきましょう。準備したものがいつまで使えるかよく見ておきましょう。家族や仲間などと話して逃げるところや電話番号などを書いておきましょう。

## →逃げる道を選ぶときのポイント

津波のときは地震のあとに逃げるので、崩れたり倒れたりするかもしれないブロック塀や橋、かけ・海・川の近くなどは通らないで逃げてください。また普段から実際に歩いて確認しておきましょう。

## II 何かあったときに持ち出すもの



## 何かあったときに家に準備しておくもの

災害のときは、必要なものを手に入れることができません。  
1週間分の水や食べ物(非常食)を準備しておきましょう。

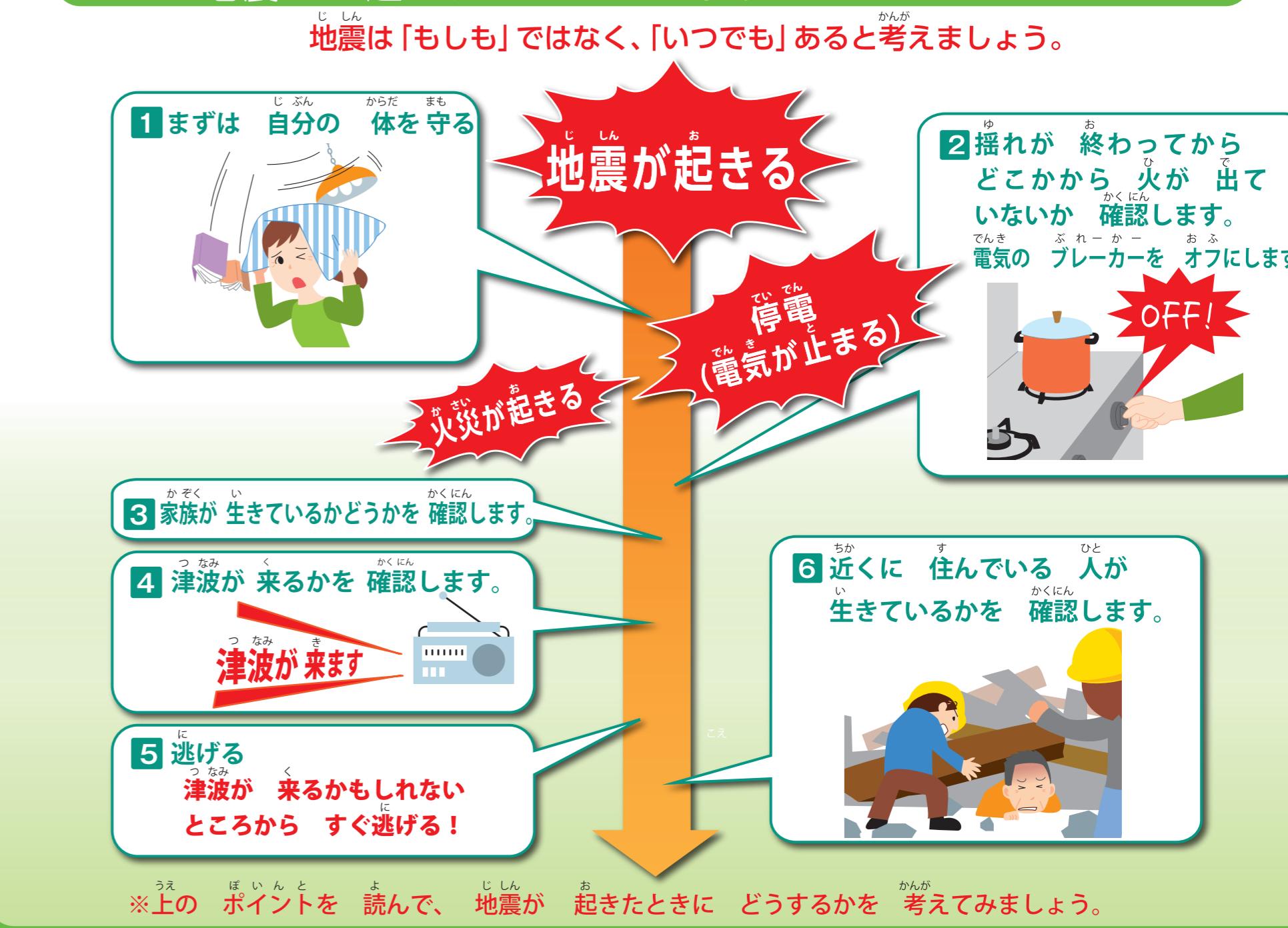
## II 家族で逃げるところ

どのような災害か	逃げるところの名前
地震と津波	
地震(津波はなし)	

## II 家族の連絡先

家族の名前	会社や学校の連絡先	電話番号やメールアドレス	携帯電話の番号	血液型
				AB型
				O型
				A型
				B型

## 地震が起きたときにどうするかのポイント



## 津波から逃げるときに気を付けること

●津波が来るかもしれないところから津波が来ないところへ歩いて逃げて下さい。(津波が来ないところはこの地図で確認しておきましょう) 地震の揺れが終わったらすぐに逃げましょう。

●津波が来ないところまで歩いて逃げることができない人は津波一時待避所(津波が来たときすぐに逃げる高い建物)へ逃げてください。津波一時待避所は、長い間暮らすところではありません。※津波一時待避所の一番新しい情報は、西尾市の防災アプリやホームページを見てください。

●海の近くにいるときは、地震の揺れが終わったらすぐ離れます。●地震が起きたときは、海や川などの近くに行かないでください。テレビ、ラジオ、インターネットで津波の情報を確認しましょう。



災害のときの伝言(ことばを伝える)ダイヤル

災害が起きたとき、多くの人が電話をかけるため、つながりにくくなったら使うことができる「声の伝言板」です。

